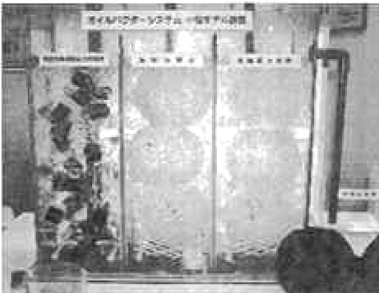


特殊強化微生物で分解

ブレイエル プラント 食品工場に売り込み

水処理プラント開発・(東京都新宿区、野澤喜設計のケイエルプラント(久夫社長)が開発した新



安定した処理のために槽内に固定担体や浮遊担体を投入

しい排水処理システムの販売が好調だ。特殊強化微生物(オイルバクター)を処理槽に入れ、排水に含まれる油脂を分解する。従来の処理に必要な設備を不要にし、ランニングコストを5分の1に低減。食品工場を中心に、納入実績は現在までに全国で100件を超える。

新しい排水処理システムの販売が好調だ。特殊強化微生物(オイルバクター)を処理槽に入れ、排水に含まれる油脂を分解する。従来の処理に必要な設備を不要にし、ランニングコストを5分の1に低減。食品工場を中心に、納入実績は現在までに全国で100件を超える。

ここ数年は年間10件前
後の受注で推移。「企業
の環境意識が高まってお
り、処理水を河川に放流
する食品工場を中心に引
き合いが増加している」
(開発担当)という。
99年の開発から改良を
重ねるとともに、販売体
制の強化に向け、森本組
に販売代理店を依頼し
ムとして売り込んでいき
たい考えだ。

排水処理で一般的な活性
汚泥法で用いられる油分
を分離させるための加圧
浮上装置を不要にした。
運転管理者を配置しな
くて済む。

臭気や発生汚泥を大
に抑制できるほか、既
設備の改修によってシ
ステムを導入できるのも
長だ。中国地方の食品工
場(排水量1日40立方メ
では、日量600kgの
削汚泥をゼロにした。在
間のランニングコストも
800万円以上削減でき
たという。